

令和4年度 第2回

杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会
議 事 録

令和4年9月8日（木）

	令和4年度 第2回杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会	
日時	令和4年9月8日(木) 午後1時30分～午後5時	
場所	杉並区役所 中棟4階 第2委員会室	
出席者	委員	井上、小笠原、石井、正木、松枝、岡村
	条例第13条による出席者	
	説明員(区)	都市整備部参事(道路担当) 狭あい道路整備課長 建築課長 事務局
傍聴	なし	
配付資料	事前	・開催通知
	当日	・次第 ・杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会委員名簿 ・令和4年度第1回 杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会議事録 ・新たな重点整備路線候補路線比較表 ・新たな重点整備路線候補路線位置図 ・現地踏査路線案内図 ・今後のスケジュール
会議次第	1 開 会 2 議 事 第1部 委嘱状交付 第2部 重点整備路線候補路線の現地踏査 第3部 意見交換 3 その他 次回の協議会の日程調整 4 閉 会	

令和4年度第2回杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会

～第1部～

○委嘱状の交付並びに委員紹介

継続委員：井上 隆 委員、小笠原 勝也 委員、正木 順子 委員、松枝 廣太郎 委員、
岡村 浩之 委員、大塚 晋次 委員（欠席）

新規委員：石井 祐樹 委員

○会長及び副会長の選任

会 長：井上 隆 委員

（条例第11条第1項の規定に基づき、委員の互選により決定）

副会長：小笠原 勝也 委員

（条例第11条第3項の規定に基づき、会長の指名により決定）

会長 これから、令和4年度第2回杉並区狭あい道路の拡幅に関する協議会を開会いたします。議事に先立ち、事務局から報告等がございましたらお願いします。

狭あい道路整備課長 本日は、警視庁 杉並警察署 交通課長 大塚委員が欠席です。協議会委員7名のうち、6名の方、過半数のご出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立しております。また、協議会記録のため、写真撮影と録音をさせていただきますので、ご了承ください。

会長 よろしく申し上げます。また、本日の議事録への署名ですが、〇〇委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〇〇委員 承知いたしました。

会長 本日の傍聴の申し出はいかがでしょうか。

狭あい道路整備課長 申し出はございません。

会長 それでは、議事に入ります。次第に従い、進行をさせていただきます。

本日は、第2部として重点整備候補路線の現地踏査になります。その後、この部屋に戻り、第3部として意見交換をした後、次回の協議会の日程調整となります。現地踏査について、事務局から説明をお願いします。

狭あい道路整備課長 まず、本日の配布資料の確認です。次第に加え、次第の下部<資料>にお示した6つをお配りしております。（2）議事録についてはメールで事前に確認いただき、修正を加えたものをお配りしております。追加の修正がなければ、お配りした議事録で確定とさせていただきます。（3）比較表、（4）位

置図については8月にお送りしたものと同じです。(5)については、候補路線に協議状況を表示した資料で新たにお配りしております。現地には(3)(4)(5)の資料をお持ちいただければと存じます。路線によっては、車両の中から、または徒歩で確認いただきますが、詳しくは、車両の中でご説明させていただきます。

それではこの後、地下駐車場から出発いたします。部屋は施錠いたしますが、貴重品はお持ちください。職員がご案内いたしますので、ご移動ください。

～第2部～

重点整備路線候補路線1、2、3、6、7、8を現地踏査

～第3部～

会長

現場を見てきたわけですが、細い道ばかり見たので、全部同じように見えてしまって、どういう印象が残っているか整理しなくてはいけないなど今悩んでいます。

これから第3部の意見交換に入りたいと思います。今日はフリートークで、今日歩いた道路から、これを重点路線にしようとか、そういう決め打ちの議論はなくていいと思うので、むしろ歩いた中での皆さんの感想、印象を含めて、こういう観点から現場を見たら取り組んだほうがいいなと思ったとか、そんなご意見でもいいので、これから意見出しをしていただければと思います。

最初、口火を切ったほうがいいので、私の印象から話しますと、最初に車から見た道路とか、その次に歩いた道路辺りというのは、その後もちょっとありましたけれども、現況幅員が3.5メートルぐらいあって、両側後退がせいぜい30センチとかそのぐらいの後退ができれば4メートルが達成できる。しかも支障物もそんなにあるわけではなくて、そこに例えば少し邪魔になっているものとしてブロック塀などがあるというタイプです。これを重点路線に位置づけると、その後退部分は大した幅ではないのだけれども、一気に幅員が広がった道ができそうだなというタイプです。

もう一方は、狭くて後退もばらばらで、せいぜい60センチから1メートル弱

近くそれぞれが後退しなければいけないというところも結構、後半では幾つか見受けられました。

後退部分の拡幅整備という意味では結構こっちのほうは課題がありますね。支障物件もあるけれども、後退してくださいと。建て替えて後退するのならいいのだけれども、建て替えではなくて後退していただくというのには、なかなか困難は伴いますが、やれば整備効果は大きいのかなと思われます。2.5メートルぐらいが4メートルに拡がった道が数年後にできれば、効果としては大きいような気がします。今日の私の印象は、そういう2タイプがあるなどというを見ながら歩かせていただきました。ちょっと長くなりましたが、私の感想は一旦以上です。

どうでしょうかね。どなたからでもいいのですが、できれば、今日はお一人ずつご意見を頂けるとありがたいので、反時計周りの順番でご発言頂ければと思います。最後〇〇さんによろしくお願いします。

〇〇委員

私も先生と同じ印象で、狭いところは広げたいというのは一番で、あまり狭いと緊急車両の点でも困難だというご指摘もあったので、狭いものをなるべく広げるということを進めたいと。ただ、前の既に指定されている道路との関係もあると思うのですが、なかなかそれが実現できないと次に行けないという問題もあって、1つ実現できない困難な道路ばかり指定してしまうと、結局いつまでもたってもなかなか先に進まないという話になると、次の指定という話にもまたならないのかなというところも思いますので。

今回何本か選定する中で、全部がものすごくなかなか困難を伴う道路ばかり指定しまうと事業として先に進まなくなるというバランスとの問題もあると思うので、そういう道と比較的効果が出やすい道と両方を選定して、どれか1本でも前に進めていくと。その選定できるものをなるべく増やしていったら、そういう対象になる道路の数を少しずつ少しずつ増やして、最終的には道の拡がる幅を全体としてボリュームを上げていくということが大事なのかなという印象だったので、その2パターンで選ぶのがいいのかなということを、今日は思いました。

以上です。簡単ですが。

会長

ありがとうございました。

では、〇〇さん。初めて来られて、いっぱい歩いて大変でしたでしょうかよろしくお願いします。

〇〇委員

現場を見られて、非常に印象深いところが多く感じられました。

私は区西部に住んでおりますので、100年程前に区画整理された地域で、道路は比較的4メートル以上で通っていると。そういう中で暮らしていると、逆にこちらが目新しくて、なかなか魅力的なまちに見えてしまったりして、防災上の危険性などはよく分かっているのですけれども、そういう良さみたいなのもまちの魅力の1つとして、何か新しい視点から見えることもできないかなと思ったりもいたしました。

事前に資料を拝見していて一番気になったのが、交通事故が13件ある、一番最初に拝見した荒玉水道との直交の交差点が事故の当該地域だという話なのですけれども、荒玉水道に対して、隅切りがないような形で拡幅候補の路線が入っていると。これが拡幅で見通しが良くなることによって事故が減るのかどうかというのが気になった点と、むしろ事故のことを考えるとここで横断歩道を造ったりとか、信号をどうにかできないのかというようなことも少し感じました。

以上になります。

会長

ありがとうございました。こういう道路に信号を造るのはちょっと難しいかなと思うのですけれども、交差部で事故が多いというのは、やっぱり問題ありますよね。

〇〇委員

スピードの事故なのですかね。

狭あい道路整備課長

事故の要因とかまではこの時点では分からないのですけれども、自転車絡みで、自転車とかか……。

〇〇委員

原因は見通しが悪いことでしょうか。

狭あい道路整備課長

その可能性はありそうですね。7、8件、この交差点だけでございますので。

〇〇委員

同じところで繰り返し事故があるということはやはり何かしら原因があるということだと推察できますので。それは解決したいところだなと思いました。

会長

ありがとうございました。

岡村委員

消防署側の感想といたしましては、どの道も拡げていただければ、それだけ消防車も救急車も入れますので、非常にありがたいなと思います。ただ、なかなか難しいのは現実的には理解をしました。

ところどころ拡がっている部分がありましたので、それと同時に、電柱、電信柱の移設も同時にやっていただければ、その電信柱が障害になって入れない

ということも解消されてくるかなと思いますので、ぜひ同時進行でやっていただければありがたいなと感じました。

以上です。

会長 電柱の移設で、少し簡単なガイダンスを頂けますか。こういうふうにセットバックしたら、こういうふうに東電と掛け合っただとか。多分いろいろやられていると思うので。

狭あい道路整備課長 電柱の移設に関しては、基本的にセットバックしたおうちの前に電柱があれば、区から電柱を管理しているNTTですとか東京電力に依頼をかけて、区道であればどちらも、電柱を管理している企業者の負担で下げてください。私道についても、同じような形でこちらから依頼をかけて、東電なりNTTが下がってもらえるのですけれども、一部区が負担して下げる場合もあります。

その下げるに当たっては、区から依頼をかけても、その下がる電柱があるおうちの方の同意を頂けないと、NTTも東電も動かすことができないということなので、道だけ拡がって、電柱が出っ張って残っているというのは、同意を頂けていないパターンが多いと思われま。基本的には下がったら、拡がった分だけおうちに近づけるといものになります。

年間大体150本ぐらい、電柱の移設依頼をかけているのですけれども、おおむね2、3年のうちに9割以上は下げられておりますので、ほとんどのものは拡幅と併せて電柱の移設もできているという印象です。

以上になります。

会長 区もそういうことはやられているようなので、この重点路線でもどうせ拡げるのであれば、それを契機にやっていくという可能性はあるということですね。

狭あい道路整備課長 そうですね。ただ、先ほど8号路線のとき、〇〇委員もおっしゃっていましたが、交差点の真ん中に電柱が立ってしまっているのは、3方向から電線が来ていたり、マンホールもちょうど位置が悪いとなると、電柱を立てられる位置が限られてしまうということはどうしても出てきて、隅切りが発生するところだとその課題が意外に多い気がしております。

以上です。

会長 ありがとうございます。

では、続いて〇〇委員よろしくお願ひします。

〇〇委員 こうやって歩いてみると、どれもみんな重点路線に入れたいなと思っ

うのですけれども、8番と7番、かなり長いですよ。古い道ですので、これは時間をかけて気長にやるしかしようがない。何とかこれ、長い蛇みたいなやつは何とかしたいなと思いました。

扱いがちょっと気になったのは、3番かな。3番が、良さそうなところと、非常に難しそうなところとあって、特に青梅街道からの入り口の辺りのところも、どちら側も局所的に対応すると全体としてはかなり出来上がりとしては使いやすくなるような感じがしたところで、全体を重点と考えるよりは、3番は青梅街道の出入口のところが特に重点かなと、そんな感じを受けました。

会長

最後に行ったところですね。

では、最後に〇〇委員よろしくお願いします。

副会長

この協議会ができて、以前重点整備路線というものをどこにするかという話が出たときに、今問題になっている阿佐ヶ谷駅前の距離的には短い部分が重点整備路線になっているのですが、私はその当時あそこを重点整備路線にすることに対して、積極的に反対とは言わなかったのですけれども、躊躇していたのですね。

というのは、区が重点整備路線として指定する以上は、それなりの成果が上がらないと意味がないのではないかと、区民に対しても申し訳ないのではないかと思ったのですね。阿佐谷のあの部分は商店街が多くて、既に建物が建っているので、なかなか整備というのは難しいところなのです。そうすると、あまり成果が出ないかなと思ったのですね。

今回、この新たな重点整備路線候補というのが8つ挙がっていますけれども、ここを読むと「拡幅の協力を得られやすい」とか、「整備効果を実感しやすい」ということが候補の理由に記載されているのですけれども、重点としての整備路線ですから、成果が上がって、近隣住民も良くなったという実感を持つようなところがいいかなと思ひ、今回選んでいただいた「協力を得やすい」とか、「整備効果を実感しやすい」というところは重点整備路線として指定したほうがいいのではないかなというのが1つ。

一番気になるのは、7番で、交通事故が13件で非常に多いというところが、これはなかなか難しいところで、これはいまだ重点整備路線がない新たな整備地区内にあるということで、非常に難しいのだけれども、交通事故が多いということであるとすると、ここを何とかしなければいけないのではないかなという印象は持ちました。

だから、楽なところだけではなくて、〇〇先生がおっしゃるように、少し難しいところも入れてもいいのかなと思います。

会長

都市計画屋の観点で、路線候補7番、荒玉水道の交差部の事故が多いということですが、特にこのように直交して、路線が割とスピードが出しやすいところというのは交通事故が多い傾向がありますね。

見通しが大切で四隅隅切りがちゃんと取れているかとか、あるいは手前のおうちの塀がもっと低い塀で、さらに隅切り以上に手前から見通しができるみたいな、そういう空間ができていれば大分安全性は上がると思うのですけれども、難しいですよ。

だから、狭あい道路の幅員を例えば3.6から4メートルに広げることと交通事故が防げることは、相関関係はあまり高くないとも言えます。あとはハンプをつけるとか、そういう議論になりますけれども、それは狭あい道路の拡幅の議論とは違う、交通計画の議論になってしまうので、テーマとしてここでやるのかどうか、そういうハンプつき狭あい道路を造るという議論がテーマになるかどうか、それも議論になるかもしれないですね。

確かに事故の問題は、私も住民に狭あい道路の拡幅をしませんかと、地元に入ると、「いいね」と言う人もいますが、実はもう一グループは「広げると車が増えるから、広げるのは嫌だ」と。今は狭いから安全なのだけれども、という意見はよくあるのですよね。だから、狭あい道路を広げることで交通事故防止にはつながらないように思うのですよね。それだけではね。違う施策がないと事故の問題は難しいのではないかなという印象は持ちますね。

今日歩いて、後退が未後退の凸凹の道路もあるのですが、気になったのは隅切りが結構切れていないところが多いですよ。あれが結構、重点路線に位置づけたときに隅切りの整備をどこまでできるのか。本来なら、建築基準法上は、建て替えるときは都の安全条例で2メートルの隅切りを造らなければいけないのですけれども、建て替えない場合で重点路線整備のときに、隅切ってくださいということまで踏み込むかどうかということですよ。そこはできるのなら結構整備水準が上がってくる気がするのですけれども、どうですかね。

狭あい道路整備推進係長

狭あい道路を拡幅するに当たって、まず事前協議をしていただいて、中心線と後退線を出すのですけれども、その後退線を出す作業のときに、当然、安全条例の隅切りの位置もそこで出すことになるのです。なので、後退をしていただければ、当然隅切りも併せて整備をしますよというのが、今杉並区

の取組としてやっていることになります。

隅切り部分を区が管理するのか、個人で管理するのかというのは、選ぶことができるのですね。区の管理でいいよということであれば、道路法としても、隅切り部分を道路として区で管理しますよと。形態も道路、法上も道路という状態になるのですけれども、ご自身で管理しますよという場合も可能なのです。その場合は、形態としては道路なのではございますけれども、あくまでも土地の持ち主がその隅切り部分だけは管理をしますよという形になります。そのどちらを取っても道路形態には整備がされるというやり方を今のところ取っておりますので、下がれば当然隅切りも造ると。

会長 では、一応重点整備路線に位置づければ、隅切りは、交渉ですけれども、話合いで下がっていただくというようにやっていくということですね。

狭あい道路整備推進係長 そうですね。

会長 分かりました。

狭あい道路整備課長 今の隅切りの話なのではございますけれども、例えば交通事故が多いという、話に挙げていただいた7号路線、この場所、恐らくこの荒玉水道が幅員6メートルを超えてしまうので、そうすると狭あいの整備のときに安全条例が適用されない可能性はあります。今、現況を平面図で見ているだけなのではございますけれども、恐らく6メートルを超えているだろうなという印象なので、そうすると、会長がおっしゃったとおり、狭あいの整備で交通事故が減らせるかと言われると、せめて隅切りが造れば話ではできると思うのではございますけれども、ここの場所に限っていると、少しそれも難しい可能性はあります。

会長 ですよね。安全条例上、隅切りを造る必要がないという交差点になる可能性があるということですよ。

 そうすると、あとは道路事業で隅を買っていただくとか、そんな世界に入りそうだけれども。

 一応、第1ラウンド回ったのですが、皆様のご意見を聞いて、さらにご発言あれば、ぜひ頂ければと思うのですが。

副会長 前回の重点整備路線を決める上では、今回1番と6番と8番で東京都の防災都市づくり推進計画の整備地区内というのが入っていますけれども、この整備地区内かどうかというのも、基準の参考の1つにしたように思います。

〇〇委員 採点表つけて、丸つけて数3つ以上とか。

副会長 やりましたかね。

〇〇委員

そういう客観的なフィルタリングをかけて選ぶ。

例えば、今8あるけれども、これを5にするのだったらどれを落としていくかというのに、点数つけて評価するというのもありのような気はしますよね。

さっきの避難道路に接続する道路とか、そういう公用のほうからの評点とかというのをつけて選ぼうとかと前はやったような気がしますね。忘れてしまったけれども。

会長

その辺、事務局のほうで、選択に当たっての項目について、前回は踏まえながらお考えはありますか。

狭あい道路整備課長 今おっしゃっていただいた、星取表みたいなものだと思うのですが、そのベースとなるのが今日お配りしている資料の（3）比較表というものです。これで「○」をつけさせていただいています。

今見ていて、1個修正がたまたまこの表で見つかってしまったので、修正させていただきたいと思います。

候補路線の6番の項目1で、整備地区には確かに入っているのですが、路線に指定されているわけではないので、「○」自体が間違いではないのですが、先ほど私現地で、1号の候補路線は防災生活道路になっていますよという話はしたのですが、6についてはそれはなっていないので、ここは誤解のないようにだけ補足をさせてください。

会長

これは前回と同じような考え方で項目を出して「○」をつけるところだという表ですよ。

狭あい道路整備課長 そうです。

会長

この表で点数を、「○」が多いただけといたら、もう今日この場で決定という感じになってしまうので、これはこれで1つの重要なファクターなのですが、今回はこれに加えて、各委員の意見も踏まえて入れたいと思うのです。

そういう意味で、こういう観点も入れたほうがいいのか、そういうご意見がもしあればお出しただければ、さらに項目7、8とか挙げて議論ができそうな気がするのですが、この場ですぐというのは難しいのですが、もしあれば如何でしょうか。

〇〇委員

今のお話で思いついたのは、まちづくりの観点を入れて狭あい道路を考えられないかなというのが1つ思いとしてありまして、例えば、今杉並区内ですと高齢化が著しく上がっております。それに関して、例えば高齢者がまちに買い物に行こうとしたときに、5分ぐらいの距離でしたら行って帰ってくるのに支

障がないのですけれども、例えば10分ですとか、駅前まで10分の距離というのが杉並区の住宅地としては非常に面積として多いと思うのですけれども、その間にちょっと一休みできるベンチなどがあれば、足が少し不自由になってきても一休みしながら買い物をして帰ってこられるぐらいの距離になってくる。そうすると、まちのにぎわいにも付与しますし、ただ道路としてそういうことが防災上の課題もあるとは思いますが、そういう考え方が取り入れられないものかなと、ふと思って、狭い道路とちょっとずれる話ではありますけれども。

会長 かなり基本的な議論ですよ。道路空間内に支障物件をなるべくなくして、4メートル道路をちゃんと造ろうよというのが1つのポリシーである中で、今のご意見は、その道路後退区域内に、ベンチぐらいいいのではないかというそういうご意見ですね。

〇〇委員 例えば今、現実的に電柱があるところで、そこがニッチになっていて、道路幅で広がるのだけれども、活用するような余地があるような場所も、何かこれからのまちづくりとして活用できる視点はないかなと思いました。

会長 微妙ですね。道路区域内にベンチを置くか、民地内にベンチは置いて、足が出るぐらい。

〇〇委員 ベンチを活用して置かせてくれるような場所があると、何かちょっといいことがあるとか。

会長 どうでしょう。ほかのご意見。よろしいでしょうか。

〇〇委員 今、歩いていて感じたのは、歩きながらもしゃべったのだけれども、整備済みの札が貼ってあるでしょう。その整備済みの比率というのか、延長の比率みたいな、整備済みがこのぐらいあるよとか、協議済みがこのぐらいあるよとかという比率というの、もうちょっと頑張るとほぼ全体が良くなるよねというのとか、まだ先が長いよねというのを、ここで重点路線に選ぶかどうかというときに、評価の指標として。ここにせっかく色分けして、協議済みかどうかとか、整備済みとかと出ているので、その割合みたいなのを、この丸をつける表の尺度に1つ入れてみるとか、大変な作業になってしまうかもしれないけれども、ちょっとそんなところを歩きながら感じました。

会長 それは、例えば整備済みのパーセントが高いほど、重点路線に残りが少ないから選んだほうがいいのか、整備済みがまだ少ないから、残りが多から重点路線に選んだほうがいいのか、どっちのご意見。

〇〇委員 どっちもありなのだと私は思っていて、どちらかという、さっき細くて古

くて長い道という、7番とか、8番も結構ずっと長かったのだけれども、昔からの道で、あぜ道というか、そういう道なので、そういうところはすぐにできないことは分かっているけれども、やっぱり重点的に攻めていこうねというのとしては挙げておきたいなというのと。

それから、割と短い2番とか、そういったところはあとどのくらいやれば上がりになるかというので、そっちのほうで重点的にやってしまおうというのに入れるか。そういう見方としては分かれる方向にはなるのだけれども、整備あるいは協議済みとかというのがどのくらいあるのか、件数とか、長さとかというのが、評価の尺度になるかなと思いついて歩いていました。

会長 課長、この表の左のほうに、整備率というのが、これはどういう定義なのでしたか。

狭あい道路整備課長 これは、延長ベースで考えております。例えば100メートルの道ですと、両側が下がって初めて整備ができますので、そうすると2項の分母が200メートルと考えるのですね、両側ありますので。200メートルを分母にした上で、何メートル分整備が終わっているか。例えば片側が全部下がったとしたら、200メートル分の100メートルになるので、50%終わりましたよという計算になります。

最初に見た、今おっしゃっていた7番の路線でいえば、35%が延長ベースで終わっております。同じく、路線の長かった8番については、路線としては300メートルなので比較的長いのですけれども、6割近く終わっているというようなものですね。

逆に、2番目に見た路線については32%なので、比較的自主整備のように空間が空いているところは多かったようには思うのですけれども、道の形状になっていないので、整備率としてはそこまで高くないといった状況になっております。

〇〇委員 今〇〇先生におっしゃっていただいたように、協議して、将来拡幅ちゃんとできますよと言っている人たちは整備済みのパーセンテージには含まれていない。

狭あい道路整備課長 含まれていないです。見た目も道としてなっていないと、この数字には上がってこないです。空間だけが空いているのでは、含みません。

〇〇委員 だから、先生がおっしゃってくださったみたいに、協議して、やるよというところがある程度取れているパーセンテージまで含むとどれぐらいになるのか

が分かるといいですよ。そうすると、指定したらもう行けるぞというところ
と、難しいところと、多分両方あったほうがいい気がして、その下話ができ
ているところのパーセンテージが分かるものがあつたら、よりいいなど。

狭あい道路整備課長 分かりました。自主整備として、空間が空いているところというのは延長
を出すことができますので、それがどのぐらいあるか。多分、それが高ければ
高いほど、単純に考えればやりやすいというはなると思いますので。

〇〇委員 そうですよ。効果が出やすいですよ。効果が出ないと、次の路線をまた
指定できないと思うので、それをやっぱり入れたいですよ。

狭あい道路整備課長 分かりました。

〇〇委員 卒業できるやつと、長く時間はかけても、ここは絶対に命を守るためにやら
なければいけないという腹を据えるところと、両方の路線が入ったほうがいい
気がするのです。

狭あい道路整備課長 それは出すことが可能ですので、次回のときに準備させていただきます。

会長 次回の資料で準備するようによろしくお願いします。

狭あい道路整備課長 はい。

会長 評価の項目というよりは、実態の分析をするためですよ。その上で判断し
ようという。

副会長 その分析結果が出てくるとすごくありがたいのですけれども、4番、5番を
見ると「数件の整備により路線として整備が完了する」と書いてございますよ
ね。そうすると、ここは何も重点整備路線にしなくても完了するのではないの
かなと。放っておいても、放っておいてもというのではないのですけれども、重
点整備に指定しなくてもできるのであれば、ここは重点整備路線から外しても
いいのかなと思いますね。

〇〇委員 今日見に行かなかったところですよ。どちらも約80%でしょう。だからも
う、ほぼほぼ卒業だよという感じのところだからね。

副会長 だから、重点整備路線というのは、やればそれなりの成果が挙がるというの
がまず、僕は一番大事だなと思うのですけれども、それにプラスして、〇〇先
生がおっしゃるように、なかなか成果は出ないかもしれないけれども、やっぱ
り社会的に見てやる必要があるというのも少し入れてあげてもいいのではない
かなと思いますね。

〇〇委員 結局災害とかあって大きな物があつたときに、分かっていたのに、区として
みすみすやっっていなかったというのは良くないと思うのですよね。それをやる

ための、区としても取り組んでいて、少しずつの進捗ではあったけれども、何とかやろうとしていたよということは、区民の命への責任という観点でも、そういうのをやったよというのは必要なという気はするので、1本はそういうのを入れたほうがいい気が、大変なのですけれども。

会長 ありがとうございます。

副会長 ○○先生がおっしゃったように、重点整備路線に入っていて、区としても一生懸命やっているという見方もあるかもしれないのですけれども、もう一方では、重点整備路線として指定しているにもかかわらず、それなりの成果が挙がっていないのは区の怠慢ではないかという見方もあるのではないかなど。そこがちょっと怖いなと思っているのですけれどもね。

会長 皆さん活発な発言を有難うございました。もう予定の4時半ぐらいになってきましたが、ご意見あればさらにお聞きします。よろしいでしょうか。

今日は、歩いて、感想を述べるぐらいの感じで、今後の進め方をこれから事務局のほうでご説明を頂きたいと思うのですが、その中で、今回は重点候補路線を決めるといいますか、一応協議会として選定するという会になると思いますので、その辺の今後の進め方を含めて、事務局から、今後の日程等をご案内いただければと思います。

狭あい道路整備課長 それでは、事務局から今後のスケジュールについて説明させていただきます。お配りした資料の一番最後に「今後のスケジュール（予定）」ということでおつけしております。

本日、9月に第2回協議会がありまして、先ほど会長からお話いただいたとおり、次回、11月頃をめどに予定しておりますが、この時点で新たな重点整備路線の案ということで絞っていただきたいと考えております。

この後、皆様にお集まりいただく会としては、第4回、2月頃になるかなと考えているのですけれども、その間に、一度絞っていただいた路線に対して、周囲にお住まいの方に事業のご説明をしてご意見を頂く場を、オープンハウス形式のようなものを設けたいと考えております。

前回、重点候補路線を指定したときにも同様の説明会を開催しておりまして、その中で、例えば2項道路沿いにある、地域の方に大事にされている桜があって、それは支障物件としては取り扱わないでいいたろうというご意見は、まちの方から頂いたものを答申に反映させていただいております。そういったことが考えられますので、答申案としてまとめる前に、地域の方からご意見を頂く

という場を12月頃に設けたいなと考えております。

このご意見を頂いたものをベースに、第4回の協議会では答申案ということで皆様にご提示させていただきまして、そこで頂いたものを最終的なものに反映させるということを考えております。

前回のやり方でいいますと、この4回のところで頂いた意見を修正するのですけれども、それ以降は皆様にお集まりいただきず、修正を反映したものをメールなどのやり取りを経て、最終的に会長から区に答申を頂くという形を取らせていただきました。

会長 次回の11月頃というのが協議会としての案で、その案を地元の関係者、住民の方にアナウンスをして周知をするとともに、ご意見も聞いて、その意見も、その次の2月にご報告いただきながら、最終的な確定をしていくということで、2月に決定するということですね。

狭あい道路整備課長 そのように予定しております。

会長 というスケジュールのようですが、よろしいですかね。

狭あい道路整備課長 ありがとうございます。

そうしましたら、このスケジュールで進めさせていただくのですけれども、次回までに、恐らく先ほど頂いたように、整備率が分かるような資料ですとか、あとは、今頂いた意見というのをある程度まとめさせていただいて、次回候補路線を絞る際の材料として頂ければと思います。

この場で、こういう資料と具体的にご指定いただければお作りはできるのですけれども、この会が終わった後でも、こういうのがあるといいなというご意見をメールなどで頂けますと、次回までに準備させていただきますので、ご連絡いただければと存じます。

会長 案内図面を持って現地を歩いたのですが、重点路線の選定に役立つような項目が入った図面をうまく作っていただけると資料としては助かるなと思いました。ここは後退済みだとか、そういうことも含めてですけれども、主要なところの幅員が書いてあるとか。

狭あい道路整備課長 分かりました。本日のまち歩きに使用したものをベースに、これをブラッシュアップする形で、少し情報量を増やして、次回、またオンラインでの開催も、ご参加いただく可能性もあると思いますので、事前になるべく皆様にご共有させていただくようにいたします。

会長 あと、これはお願いなのですが、重点路線に位置づけると、どういう

ことを区として住民の方と協議をして、協議が整ったところには、どういうことが実際にできる。中心線を割り出すとか、あるいは後退していただくときの、ブロック塀を壊す、壊さないとか、後退部分にL形を移すときに、移した後の塀を造るとか、いろいろメニューがありますよね。

重点路線に指定したら、指定した後に、区としてはどういうことをやって、それに伴ってこういう権利者にメリットがある、あるいは整備につながるような、こういうことができるという、そういうのを分かりやすくお示しいただくと、委員の皆さんも、重点路線に指定したらこういうことができるのだから、そういう観点だったらこれはやっぱり大事だなとか、そんな発想が出てくると思うのです。その辺も含めてご検討いただければありがたいなと。

狭あい道路整備課長 分かりました。重点路線、地域の方に説明するときにも必要な資料になってくると思いますので、作らせていただきます。

そうしましたら、スケジュールの話で、11月ということで今お話しさせていただいたのですけれども、前回と同様、可能であればこの場である程度候補をお話しさせていただければと思います。

今現在候補としてこちらで考えさせていただいているのが、11月9日水曜日、14日月曜日、15日火曜日、16日水曜日と、18日金曜日です。

〇〇委員 11月14日の週が14日しか入らなくて、あともう全部埋まってしまっているの
で、すみません。

会長 14日は大丈夫ですか。

〇〇委員 14日は大丈夫です。

あと、9日は午後だったら空いているのですが。

狭あい道路整備課長 午後だったらですね。

会長 開催時間は午後ですか。

狭あい道路整備課長 多分同じぐらいなので、午後にはなるのかなと。

〇〇委員 9日の午後と、14日の午後は大丈夫です。

狭あい道路整備課長 分かりました。

会長 ほかの方はどうでしょうか。

副会長 私は、14日の午後だけが駄目なので、だから、9日の午後だったら大丈夫。

〇〇委員 18日は、候補ありましたか。

狭あい道路整備課長 はい。

〇〇委員 18日も午後は何とかできると思います。

狭あい道路整備課長 分かりました。

会長 ○○さんは、18日は如何ですか。

副会長 大丈夫です。

会長 今候補が2つに絞られて、9日か18日かですが。

○○委員 私は9日に予定が入っているので、出来れば18日がありがたいですね。

会長 9日に予定が入っているという事なので、18日で如何でしょうか。

○○委員 大丈夫です。

会長 ○○さん、どうでしょうか。

○○委員 大丈夫です。

会長 消防さんは大丈夫でしょうか。

岡村委員 ちょっといろいろありますので、またそのときに調整させていただきます。

会長 申し訳ないです。

岡村委員 とんでもないです。皆さんのほうに合わせていただいて。

会長 では、候補は今の中で、1点に絞られたので、11月18日を次回開催予定日とします。

狭あい道路整備課長 18日の午後ですね。

会長 午後は、何時からでしたか。

狭あい道路整備課長 大体2時ぐらい。2時でよろしいですかね。

では、今のところの予定としては、11月18日金曜日の午後2時に。まだ場所はこれからですが、一応この同じ場所をご予定いただければと思います。

副会長 2月はまだ決めなくていいのですか。

狭あい道路整備課長 可能であれば、もう少し先に決めさせていただけると。

よろしければ、事務局からアナウンスさせていただきたいこととしては以上になります。

会長 では、一応今日の議題、次第でいえば、その他も終わったので、あとは閉会ということなのですが。

長時間、現場も歩いていただいて、本当にご苦労さまでした。雨に降られなかったのが一番よかったと思います。ご協力ありがとうございました。

では、これで閉会します。

— 了 —